

外来種コゴメミズ (イラクサ科) を 横須賀市で確認

池田隆一*・石橋美春*・山本 薫**

First discovery of *Pilea microphylla* from
the Miura Peninsula

Ryuichi IKEDA*, Miharu ISHIBASHI*
and Kaoru YAMAMOTO*

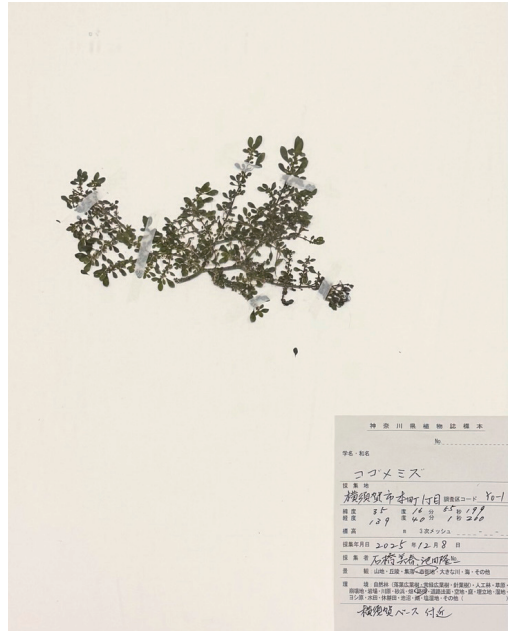
キーワード: コゴメミズ, 外来植物, 三浦半島,
初記録

Key words: *Pilea microphylla*, alien plant,
Miura Peninsula, first discovery

コゴメミズ *Pilea microphylla* は、沖縄や九州に帰化が知られる南アメリカ原産のイラクサ科の植物であり、本州では植物園の温室などにしばしば見られる(高橋・馬場 1998; 大西, 2018)。本種は、「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」の「重点対策外来種」に区分されているが(環境省, 2015)、神奈川県内での標本に基づく記録は1998年と2016年に海老名市で採集されたもののみであり、分布が拡大する様子はみられないと判断されていた(大西, 2018)。著者の池田は2025年10月5日に横須賀市本町1丁目において本種を発見、12月8日に同じく著者の石橋が同所で花と果実を含む標本を採集した(第1図)。同定は平田(2017)に従い、葉は長楕円形からへら形、白色の隆起した結晶線があること、茎はよく分枝し稜があることを確認した。本個体は、三浦半島において初記録となるコゴメミズとして報告する。

標本

YCM-V 72114. 20251208. 横須賀市本町1丁目、
石橋美春採集



第1図 コゴメミズ標本写真.



第2図 コゴメミズ生態写真
(2025年12月8日石橋美春撮影).

生育状況

今回発見したコゴメミズは、飲食店付近のコンクリートの隙間10ヶ所に点在して生育し、10~30 cm程度に広がるように繁茂していた(第2図)。本個体の若い果実は確認できたものの、種子は確認することができなかった。ただし、種子繁殖により

* 横須賀植物会 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95 横須賀市自然・人文博物館気付

** 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95

原稿受付 2025年12月20日 横須賀市博物館業績 第811号

Corresponding author: Kaoru YAMAMOTO, kaoru-yamamoto@city.yokosuka.kanagawa.jp

個体が増えている可能性は否定できない。奄美大島や沖縄島では通年生育するため（環境省，2024），今後，三浦半島においても分布拡大の注意が必要である。

本種の同定と標本作製にご協力いただいた金子龍二氏，中山博子氏に感謝申し上げる。

引用文献

平田 浩 2017. 図解・九州の植物 下巻 . 1369 p. 南方新社 .

環境省奄美群島国立公園管理事務所 2024. 奄美大島の外来植物防除優先度リスト . <https://kyushu.env.go.jp/okinawa/awcc/images/alien-priority/12.pdf>

環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室編 2015. 生態系被害防止外来種リスト . (平成 28 年 10 月改訂) https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/files/06_rist_a3_c.pdf

大西 亘 2018. ミズ属 . 神奈川県植物誌調査会編，神奈川県植物誌 2018 電子版 :904-905. 神奈川県植物誌調査会，小田原 .

高橋秀男・馬場しのぶ 1998. コゴメミズを海老名市で採集した . *FROLA KANAGAWA*, (47): 533.